

フィリピンにおけるジェンダー平等：LGBTQ（性的マイノリティー）コミュニティとその自由を求める闘い

Ms. Arisa Junio（フィリピン）

2014年10月11日、トランスジェンダーの女性が死亡しているのが見つかりました。遺体はフィリピン・オロンガポ市にあるホテルの一室のバスルームで床に倒れ込んだ形で発見され、首には複数の傷があり、頭は便器にもたれかかっていた。彼女を殺した最重要容疑者は19歳の米国海兵隊員で、訪問米軍の地位に関する米比協定(VFA)のもと、合同軍事演習に参加するためにフィリピンを訪れていました。捜査によると、容疑者は性的サービスを受けるために彼女とホテルにチェックインしたところ、彼女がトランスジェンダーだと分かり殺したということです。この事件は、トランスジェンダーに対するヘイトクライム（憎悪犯罪）だったのです。

この悲惨な殺害は、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィア(LGBTQ)のコミュニティが直面している脅威や危険について、フィリピンだけでなく全世界に向けて警鐘を鳴らしました。

フィリピンにおけるLGBTQの権利を求める戦い

世界経済フォーラムは、「グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート（世界男女格差報告書）2014」を通じて世界142か国の男女間格差を評価・数値化し、長期間にわたって男女間の平等の進展を追跡しています。その手段として用いられる「この報告書に示されたグローバル・ジェンダー・ギャップ・インデックス（世界男女格差指数）は、健康、教育、経済、政治の4つの分野における男女間の相対的な格差を通して、男女平等の重要な側面を測ることを目指している」とされています。男女格差の少ない上位10か国の中に、フィリピンも9位で入っており、続く10位がベルギーでした。このことは、フィリピンがジェンダー平等を目指す上で、素晴らしい成果を上げていると言えます。しかし、ここで問題となるのが、「上記のような事件の意味するものは何か、LGBTQコミュニティの人たちに何が起きているのか？」ということです。

1994年、フィリピンでは初となる組織的なゲイ・プライド・パレードが開催されました。マニラで行われたメトロ・マニラ・プライド・マーチにはLGBTQの権利擁護者や支援者が集結し、ローマカトリック教会からの圧力にも屈せず、お互いの団結を示しました。ここで念頭に置いておく必要があるのは、フィリピンは圧倒的にカトリック教徒が多数を占める国であり、同性愛や同性間の性交渉を禁じているという点です。2013年には別のプライド・マーチが行われ、「そのパレードは、抑圧から立ち上がるLGBTQコミュニティの力を強く示した」（Tamboon氏『Rappler（フィリピンのソーシャル・ニュース・ネットワーク）』2014年）LGBTQコミュニティは、社会的な受容を求めて闘っていますが、差別をなくすためにはより一層の努力が必要だと考えています。一つの手段として考えられ

るのが、法制度の整備と、そのジェンダーの公平性を男女だけでなく LGBTQ コミュニティーに対しても確保することです。

フィリピンにおける LGBTQ コミュニティーのためのジェンダー公平に向けた政策

2013年、フィリピンでは差別禁止法案が代議院（下院）に提出されました。この法案は、権利章典のなかの法の平等保護条項に違反する、あらゆる形態の差別の撤廃を目的としています。提出された法案では、差別とは、「性、性的指向、性自認などを理由に、（中略）全ての権利や自由において平等ないかなる人の評価（中略）をも損なう（中略）目的および効果を持つ、あらゆる区別、排除、制限、優先を意味するものと理解される」と定義されています。残念ながら、この法案はカトリック教会による反対に合い、保留の状態が続いています。



2013年フィリピン大学で行われたプライド・マーチ
出典： Buena Bernal/Rappler.com

2014年、フィリピンの中で最大の面積を誇るケソン市が、LGBTQ を支持する条例を可決させ、LGBTQ コミュニティーにとって歴史的な動きとなりました。この「ジェンダー公平な都市」の条例は、LGBTQ の職場、学校、宿泊施設などにおける権利、および基本サービスにアクセスする権利の保護を目的としています。さらに、この条例は同性愛者に対する差別も禁止しています。

ジェンダーの権利としての LGBTQ の権利

ジェンダー平等について議論する際に私たちが忘れてはならないのは、これが女性と男性だけの話ではないということです。真のジェンダー平等とは、基本的な権利を奪われた女性、「男らしくない」とののしられ嘲笑される男性、差別と憎悪にさらされ続け、そのために個人・人間としてのポテンシャルを最大限に発揮することができない LGBTQ コミュニティーの人たちのエンパワーメントに取り組むことです。